

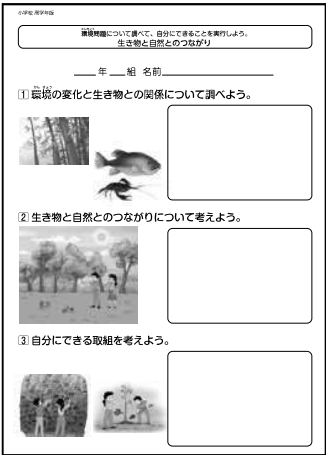
環境教育揭示用教材 指導資料

環境教育揭示用教材は、児童・生徒に地球環境保全に関する必要な知識を与えるとともに、3 Rをはじめとする地球環境に配慮した行動の大切さを理解させ、その実践を促すことを目的として作成した教材です。

本指導資料では、学校の授業等で活用できるよう、環境教育揭示用教材を活用した活用例等を紹介します。

環境教育揭示用教材の活用例

環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。
生き物と自然とのつながり



環境学習の視点

自分たちの日々の生活や行動が地球環境保全につながることに理解し、環境に配慮した生活を心掛けていこうとする態度を育てる。

ねらい

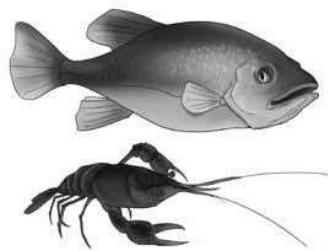
生き物と自然とのつながりについて理解するとともに、生き物と自然とのつながりを大切にするために、自分にできる取組を考え、実践する。

活動内容(○主な活動)	教師の支援(◇留意点)	◆揭示用教材等との関連
○揭示用教材①、②を見て、環境の変化と生き物との関係について話し合う。 生き物と自然とのつながりについて話し合い、生き物と自然とのつながりを大切にするために、自分にできることを考えよう。 ○揭示用教材③を基に、生き物と自然とのつながりについて、個人やグループで調べるとともに、学級全体で話し合う。 ○揭示用教材④、⑤、⑥を参考に、生き物と自然とのつながりを大切にするために、自分にできることについて考える。 ○気付いたことや感想を発表する。	◇イラスト等を基に、環境が変化すると生き物同士の関わりも変化することについて気付かせる。 ◇イラストを基に、生き物と自然とのつながりについて考えさせるとともに、生き物同士が関わり合って生きていることや、そのつながりの大切さを理解させる。 ◇イラスト等を参考に、植物が吸収する二酸化炭素の量や東京都の取組等について伝える。 ◇イラストを参考に、自分にできる取組について考えさせる。 ◇児童一人一人が地球環境保全につながる生活を心掛ける必要性に気付くよう、活動を振り返らせる。	◆揭示用教材①、② ◆ワークシート① ◆揭示用教材③ ◆ワークシート② ◆揭示用教材④、⑤、⑥ ◆ワークシート③

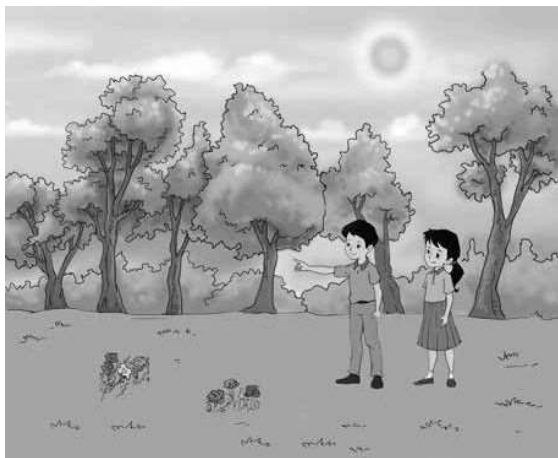
かんきょう
環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。
生き物と自然とのつながり

____ 年 ____ 組 名前 _____

かん きょう
1 環境の変化と生き物との関係について調べよう。



2 生き物と自然とのつながりについて考えよう。



3 自分にできる取組を考えよう。

